

日刊工業新聞「KOSEN 最前線 2026」に当社社員が掲載されました

2026 年 10 月 1 日付日刊工業新聞の「KOSEN 最前線 2026」において、当社で活躍する社員が紹介されました。記事では、それぞれの業務内容や高専での学びを活かした仕事への取り組み、将来の目標などについて語っています。

当社にご興味をお持ちの方は、ぜひ一度、お問合せいただけましたら幸いです。たくさんの学生のみなさまからのお問合せをお待ちしております。

当社グループは今後も、人材育成を通じて社会と物流を支える企業グループを目指してまいります。

船と陸をつなぐ

港湾企画管理室 時安 利成さん

2004年に入社以来、約15年間
フォアマンとして、車両・船舶・在来船
の現場管理に携わり、港湾現場の最
前線で安全かつ効率的な作業に取り
組んでいました。その後は貨物積み
付けプランの作成や荷役立ち会い、
安全な航海ルートの選定や船舶の
安全運航を支える海務監督をはじめ、
上陸の入出庫・保税管理や営業
業務など幅広い業務を経験しまし
た。

宇徳は港湾・物流・プラントの三
つの事業を展開しています。港湾事
業を通じて船と陸をつなぎ、日本の
暮らしや産業を支える仕事にやりが
いを感じます。

現在は、出向先の手徳トランスネ
ットで安全衛生管理室長を務めてい
ます。これまでの経験・知識を生か
して、完全管理の面から現場を支え
る立場です。

当社は、高専で学んだ知識や技
術を生かし、実務を通じて成長でき
る環境に魅力を感じて入社しまし
た。学生時代に育んだ自律心や協調
性、責任感は、社会人として新たな課
題に挑戦する力になっています。皆
さんも失敗を恐れず、好奇心を持っ
て多くのことに挑戦し、自分自身の
可能性を広げてほしいです。

(広島船舶高等専門学校卒)



宇
徳



水際から船支える

港運部 有明ターミナルチーム

広浜 綾乃さん

2017年に入社し、コンテナ輸
出入の保税業務に携わったあと、内
航RORO船のフォアマンとして現
場に立つていました。5月に産休・
育休から復帰して、現在は港運部で
コンテナへの貨物の積み込み・荷降
ろし作業や配送の手続きなど、船積
み貨物の輸送業務を担当していま
す。

高専では船乗りになるための勉強
をしましたが、結婚や出産などのラ
イフイベントも経験したかったの
で、陸上職でキャリアを築こうと考
えました。

インターンシップで見えた手のコ
ンテナミナルが印象的で、先輩
たちも働いている当社に入社を決め
ました。福利厚生がしっかりしてい
る点も決め手の一つです。

当社では日々さまざまな業務が遂
行されます。港の仕事は一人で完結
できることはほとんどありません。
いろいろな人と連携しながら、安全
かつ円滑に業務を進めます。船が無
事に帰港した時やお客さまの要望に
応えられた時は、達成感がありま
す。船に乗るとはじめては全てもな
く、私のように水際から船を支え
て、陸からそぞろでできることがた
くさんあると思います。

(富山高専専門学校卒)

【採用担当】

人事部 人事チーム TEL:045-201-6582

当社採用ホームページは[こちら](#)

【お問合わせ先】

株式会社宇徳 総務部

秘書・広報チーム TEL:045-201-6600